

「日本一おいしい水なごやをめざす研究会」

研究報告書



いつまでもおいしい水をお届けします

名古屋市上下水道局



なごやの水道は、大正 3 年に給水を開始して以来、まもなく百年となります。水源を木曾川に求めたことで、市勢の拡張に伴い給水人口が増大することであっても、断水することなく安全な水を供給し続けてきました。また、水道水の品質についても、全国に先駆けて昭和 54 年に「うまい水研究会」を立ち上げ、より清浄な水づくりを始め、平成 18 年からは現在の「名水プロジェクト」として施策・事業展開をしております。この結果、なごやの水道水は、高品質な水として高い評価をいただいております。また私たちの誇りとするところです。

しかし、昨今、食の安全や健康に対する関心の高まりを反映して、ミネラルウォーターの販売量増加や浄水器の普及拡大とともに、水道水に対する根拠のない不安感による、水道水離れとも受け取れる現象が起きております。

そこで、水道水の安全性とおいしさのさらなるレベルアップと、水道水への信頼性の向上をめざし、「日本一おいしい水なごやをめざす研究会」を立ち上げました。本研究会は、従来の考え方にとらわれず、幅広い意見と斬新なアイデアを吸い上げるため、職員の参画を公募により求め、「おいしさの探求」、「安心・安全の向上」、「ブランド力の向上」の 3 つの視点からワーキンググループを設け、若手職員のアシスタントグループを合わせ 127 名にのぼる局内の縦・横断的な体制としました。さらには、民間の知恵やノウハウに学びながら研究を進めることが必要と考え、研究会のアドバイザーとして、個人・団体をあわせ 56 名となる「名水御意見番」を募集しました。名水御意見番のみなさまには、水や食などの分野で活躍されているお客さまの視点で、私たちではなかなか気づくことができない貴重な意見をいただき、厚くお礼申し上げます。

ここに 6 月 17 日の設立後、およそ 6 ヶ月におよぶ研究の成果を、11 の取り組みの柱としてまとめあげることができました。この成果を事業に反映することにより、じゃ口からの水を飲む文化の復活と、水道水に対する確かな信頼をいただけるものと考えております。

名古屋市上下水道局では、お客さまとの連携のもと、次の百年も、安全でおいしい水を安定して供給したいと考えております。

平成 22 年 1 月

日本一おいしい水なごやをめざす研究会座長  
三羽 宏明

---

## 目 次

---

第一章 水道の現状	
水道の現状 .....	2
第二章 研究結果	
日本ーおいしい水をめざして .....	12
日本ーおいしい水をめざす視点 .....	14
日本ーおいしい水をめざす取り組みの柱 .....	15
おいしさの探求 .....	17
安心・安全の向上 .....	33
ブランド力の向上 .....	47
資料編	
おいしい水に関するなごやの取り組み .....	60
日本ーおいしい水なごやをめざす研究会 .....	64
名水御意見番 .....	66
なごやの水道水の経年変化 .....	73
研究会における水温変動調査 .....	77
活動記録 .....	82
研究会構成員 .....	83
語句説明 .....	86
(本文中※印のついた語句の説明です)	